

はっぴい〜すまいる

～兵庫合研の成功をめざして～

2026.8.22(土)～24(月)

No.5 神戸 地域実行委員会ニュース

～つくりだそう 平和な世界 つながろう すべての子どもの笑顔のために～

2026年2月 発行

保護者プレ企画「親子で遊ぼう」開催！

1月31日に「親子で遊ぼう」という、その名の通り、親子で遊んで、交流して、すこし学ぶというイベントを開催しました。計11人が参加。

イベントの冒頭は遊びの時間。ふれあい遊びや、大きな布を用いた遊び、体の柔軟性や体幹を同時に鍛えられる遊びなど、子どもも大人も笑顔でいっぱい身体を動かしました。子育て相談の時間では、それぞれの子育ての悩みを交流、共感したり保育士さんにアドバイスをもらったり。もちろん兵庫合研の紹介も。

私自身は、思っていたよりも楽しくかつタメになって、企画に関われて良かった～と思っています。8月の兵庫合研にむけて、それ以降も何か楽しく取組みを続けれたらなと思っています。

保護者実行委員です！



そして次は… 2/21(土) 神戸実行委員会プレ企画！第2弾

神田みゆき さん

音楽で遊ぼう

童謡からクラシック曲まで

色々な音楽を聴いて、リーダーの動きや言葉かけに合わせて楽器を鳴らしたり身体を動かします。

音楽に耳を傾けているだけでもOK！

誰もが笑顔になります。子どもはより元気に、大人はほっとする癒しの時間に。音楽は音として、リズムメロディーが一つになって身体に伝わり、感じたまま動く。それが他のものにはない魅力です。

だれでも どこでも いつでも 楽しめます！

ぜひ、いっしょに楽しい体験をしながら過ごしましょう！



第6回 神戸地域実行委員会

震災企画「災害時における保育所の役割」

兵庫県保育所運動連絡会 会長 増田 百代 さん



参加者の声

震災直後のことを冷静に淡々と話される増田さん。その姿が尚更、参加者の胸に響きました。保育所は児童福祉施設であること。24条1項が残された意味。だからこそ、その役割について深く考えさせられました。

片付けが終わった後、何をすれば良いかわからなかったという言葉が印象的だった。認可保育所と無認可保育所の差。児童福祉法には、「すべての子どもたちに」と書いてあるのに…。認可園を充実させることの大事さを今まで以上に感じた。

生活施設である保育所は、災害時、被災した人を受け入れるのに適している。災害に遭うこと＝「保育に欠けている」に当たる保育所の担う役割、今後どんなことが起きても生きていける街・施設づくりに変えていけるようにできることを考えたい。

「これが昼間の保育中だったらと思うと本当に怖かった。」と経験者から聞いたことがあった。確かにと思った。

無認可保育所を認可保育所へ。それが、10か所も！増田さん、すごいなあ…

連載 ～加盟団体こんにちは～



No.4 ポーアイ子育てスクランブル egg

egg は、2001年の第33回兵庫合研港島実行委員会から誕生しました。

第58回もワールド記念ホールで開催されると聞き、まちライブラリーみなとじまにて再開しました。まずは、ポーアイのことを知ろう！と、認定こども園ポートピア・港島学園・神戸市立港島幼稚園の施設長さんのお話を聞き、今回は、わしおクリニックの院長さんのお話です。港島幼稚園では、「英語教育、平仮名の指導など“早期教育”ではなく、今この時期にしかできない経験や、心が動く感動を何よりも大切にしている。子ども一人ひとりが感じ、考え、試し、喜ぶ時間を丁寧に積み重ねることが、これからの人生の土台になる。そんな思いで、子どもたちと向き合っている」とのことでした。

